

# 総務経済常任委員会 所管事務調査報告

平成30年8月6日

富士見町議会

議長 五味 平一 殿

総務経済常任委員会

委員長 名取 久仁春

平成30年6月定例議会において、決議された閉会中の議員派遣の結果について、下記のとおり報告いたします。

## 記

### ○視察目的

- ・現在、富士見町においても森林整備が進んでいる。しかし、その森林を有効利用しているかといえ、疑問が残る。そこで、バイオマス発電により森林資源を有効活用している先進事例を視察し、見識を深める。併せてソーラー発電等の施設を見学する。

### ○1日目

平成30年7月4日（水）

#### ① 信州Fパワープロジェクト

所在地 塩尻市片丘 8501 番 1

事業主体 塩尻市、長野県、征矢野建設（株）

エネルギー源 木質バイオマス

発電出力 14,500 kW

プロジェクトの概要 森林資源を無駄なく活用しその利益を山側に還元することで林業を復活させ森林の再生や木材産業の振興を図る取り組み。

視察時点では木材の加工、建物建材製品化までの段階で、発電事業は行っていなかった。



② (株) 岐阜バイオマスパワー

所在地 岐阜県瑞浪市牛牧

発電規模 6,250 k w h 送電規模 5,200 k w h (一般家庭 11,000 世帯分)

ボイラー タクマN - 1100F H型流動層ボイラー

発電方式 蒸気タービン駆動

年間使用木材 85,000~90,000 t 1ha の木材は 800~1,000 t

現在 85 万 ha の山林を確保

岐阜県は県土面積に占める森林が 81%と全国外 2 位である。この豊かな森林の持つ公益的機能を維持・発展させるためには間伐など森林整備が不可欠である。この間伐等で伐採されながら利用されずに放置されてきた未利用木材を有効活用することにより、森林整備の促進や林業の活性化、地域社会の活性化が期待できる。



(報告者 加々見保樹)

## ○2日目

平成30年7月5日(木)

テーマ① ソーラーパークしおみ視察

視察施設・・・名古屋市瑞穂区洲雲町4丁目45

株式会社 シーテック 所有 ソーラーパークしおみ

視察目的・・・遊休地を利用したソーラー発電所建設の現状視察

視察内容・・・港湾埋立地の広大な区画整理された空き地を有効活用するために土地を取得し、そこにソーラーパネルを設置して発電事業を実施している。

・ 株式会社シーテック会社内容

昭和37年中部電力(株)の水力発電所、変電所並びに送電・通信線路の点検、保守業務を主体に実施する中部電力(株)傘下19番目の関係会社として設立。時代の変化を読み取り新規事業を興し、電力会社および官公庁・民間の発電工事、送電工事、地中線工事、土木・建築工事、塗装工事、技術コンサルタント、情報通信工事、電設工事、環境関連事業、CCNET事業、熱供給事業として再生可能エネルギー分野にも積極的に取り組み、低炭素社会の実現に貢献している総合技術企業である。

・ ソーラーパークしおみの概要

平成26年10月運転開始

発電出力 1250KW

パネル枚数 6440枚

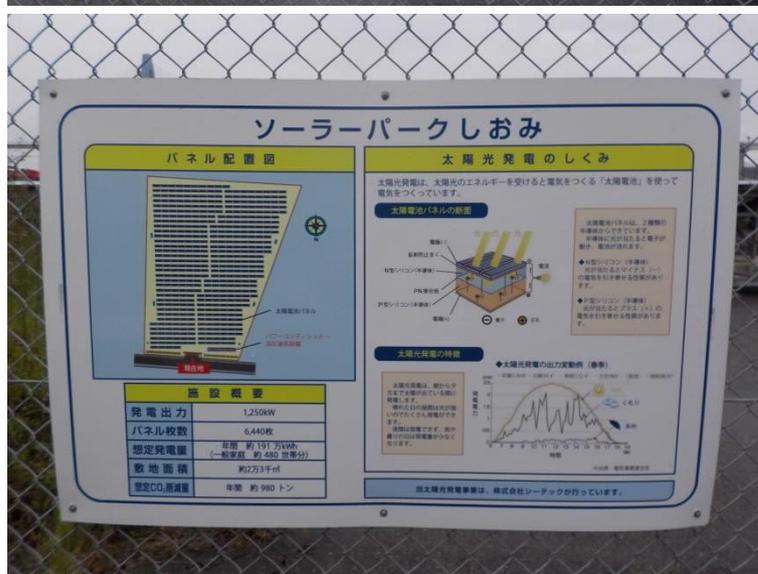
発電量 191万KWh 一般家庭約480世帯分

敷地面積 約2万3千平方メートル

CO2削減量 年間 約980トン

まとめに

港湾埋立地の広大な空き地が点在する中で、周囲には輸出用自動車の集積場や、火力発電所や可燃物の処理場があり、ソーラーパークとして空き地を利用するには最適の場所であり有効な土地利用の方法と考えられる。



テーマ ② リニア・鉄道博物館視察

視察施設・・・名古屋市港区金城埠頭3丁目2版2

リニア・鉄道館

視察目的・・・鉄道の進化を体験し、リニア新幹線への理解を深める

視察内容・・・リニア新幹線における実験車両として300X、MLX01=1型の実物車両の展示の他に東海道新幹線を中心に、在来線から超電導リニアまで39両の実物車両の展示を見学し、その他鉄道の仕組み等の展示を見学し理解と見識を深めた。



<文責 三井新成>